

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 健康推進課			内線等	8078
事務事業名	健康づくり推進事業				事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等					Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	保健
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民のために
手 段	女性健診や虫歯予防フェスティバルに企画、運営することによって
想定する成果	疾病予防と健康意識の高揚を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
むし歯予防フェスティバル参加者	1,259人	1,049人	1,079人
女性健診実施回数・受診者	12回 308人	12回 240人	-
体温計・救急箱の点検数	13校/15園/1施設 722本	17校/15園/1施設 693本	17校/15園/1施設 700本

成果指標

成果指標名	参加者1人当たりの事業費
成果指標の説明	事業費 / 年間参加者数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		3,768円				4,113円				3,892円			
成果指標													
事業費	事業費	4,457				3,876				3,543			
	人件費	1,557				1,562				785			
	(人数)	正規	0.2	非常勤		正規	0.2	非常勤		正規	0.1	非常勤	
	合計	6,014				5,438				4,328			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他	400				312							
	一般財源	5,614				5,126				4,328			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	むし歯予防フェスティバルの参加者数は、ほぼ横ばいであるが、目標にほぼ達している。
経済効率性	2	2	2	2	
事務効率性	2	2	2	2	むし歯予防フェスティバルは歯科医師会や歯科技工士会が主体となって実施しているため、事務効率性には問題はない。
必要性	2	2	2	3	市民にとって健康に関する情報を得るよい機会であり、必要な事業である。
小計	8	8	8	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	市民の健康づくりには欠かせない事業である。
合計	10	8	10	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	むし歯予防フェスティバルは市民に定着した事業として認識されており、継続的に開催していきたい。また、女性健診は受診機会の少ない女性の生活習慣病予防に役立っている。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防フェスティバルの開催時間を短縮し、経費削減とマンパワーの確保をする。 ・講演会の後、参加者からアンケートをとり、市民により身近な演題を歯科医師会に提案していきたい。
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防フェスティバルは参加する年齢層が決まっており、更に幅広い年齢層にも参加してもらえよう内容の充実を図るべき。 ・健診を受診する機会の少ない者への健診の場として、レディース健診を実施しているが20年度からの特定健診に関し、40歳未満の男女を対象としたヤングエイジ健診の実施を検討していきたい。

平成21年度予算に反映する項目

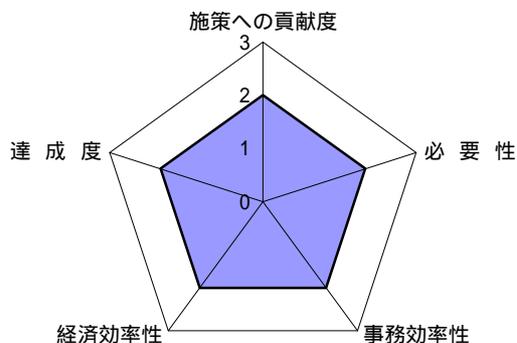
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的業務は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点